

- 八頭普及所管内の新規就農者や親元就農者の経営安定化を図るため、個別指導や集合研修を通じて技術や経営支援を行った。
- また、町やJA等の関係機関と一体となって、新規就農者等の支援を行った。
- その結果、平成29年度に新規就農者(重点対象者)10名のうち5名が収量目標を達成した。

具体的な成果

- 1 収量目標を5名が達成(平成29年度)
新規就農者(重点対象者)10名のうち5名が収量目標を達成し、うち4名は所得目標も達成した。
また、野菜が主である6名のうち4名は同一の品目を栽培する生産組合であり、収量は目標に到達しなかったものの前年を大幅に上回り、次年度に期待の持てる結果となった。

収量目標の達成状況

重点対象者の区分		うち目標達成
野菜が主	6名	1名
果樹が主	3名	3名
畜産+水稻	1名	1名
合計	10名	5名

2 栽培技術を習得

平成29年度から新たな取り組みとして、果樹(ナシ)と畜産(和牛)でグループ化して行った研修会等により、仲間づくりと基礎的な栽培技術の習得が図れた。



3 複式簿記記帳方法の習得

簿記研修会の開催により、複式簿記記帳方法を習得し、経営分析への意欲も高まった。

普及員の活動内容

- 1 新規就農者、親元就農者に対する支援
 - ・グループ化による支援
平成29年度から新たな取り組みとして、果樹(ナシ)と畜産(和牛)で、それぞれ年5回研修会を企画し開催した。
 - ・複式簿記習得のための簿記研修会を年6回開催した
 - ・農業士会と連携し現地巡回や研修会を年2回開催した。
 - ・個別対応による支援
特技普及員がはりついて栽培技術等の支援を行い、その状況を普及所内の定例会(月2回)で共有した。
- 2 関係機関と連携した新規就農者への支援
 - ・各町の状況報告会での必要な個別支援を検討するとともに、現地確認会(圃場巡回)を実施

今後の普及活動に向けて

- 1 新規就農者個々の目標の明確化と早期の経営安定化への支援
 - ・収量目標ではなく所得目標を目指す。
- 2 状況に応じた対処方法の検討
 - ・気象災害等による作業遅れで所得目標に到達しない事例があることから、災害等を想定した排水対策等の事前対策の徹底
 - ・調査機器(ICTも含め)を活用し、調査データ等に基づいた科学的な対応を実施